

アオイ環境株式会社社内 「エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業」事務局 宛て
E-mail : ecotourism@aoikankyo.co.jp / FAX : 03-5444-6850

提出書類チェック

書類	摘要	チェック
様式1 派遣申請書	・本様式に記入の上、提出してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
様式2 申請者の概要	・申請者の概要について、様式2に記入していただくか、又は、別途様式2の内容が分かる資料をご提出ください(市町村からの申請を除く)。 例：事業概要、構成員名簿、役員名簿等	<input checked="" type="checkbox"/>
様式3 アドバイザーの概要	募集要領に掲載しているアドバイザー以外の有識者の派遣を希望する場合のみ提出してください。 ・様式3に記入していただくか、又は、別途アドバイザーとして招聘する方の氏名、略歴、推薦理由、実績等が分かるものをご提出ください。	

申請日	2014年 8月 XX日
-----	--------------

Q1 申請地域、団体、担当者連絡先について

派遣を希望する地域名(都道府県、市区町村、広域圏等)および団体名(申請団体名)をご記入ください。
特に団体名がなければ地域名のみで結構です。

県 市 地区エコツーリズム推進協議会

アドバイザー派遣の申請に係るご担当者の連絡先をご記入ください。

団体名	地区エコツーリズム推進協議会		
所属	(部署名) 市役所観光課	(役職名) 主査	
ふりがな	かんきょう	たろう	
担当者氏名	環境	太郎	
ご住所(主たる所在地)	〒000-0000 市 1-2-3		
電話	123-456-7890	FAX	123-456-7890
電子メール	ecotourism@***.jp		
以下は申請ご担当者と異なる場合にご記入ください。市町村の行政機関の参画が必須条件となります。			
行政担当部署		担当者氏名	

本派遣事業への参加が想定される地域の団体をご記入ください。

(例) 市地域振興課、観光協会、ガイド組合

市環境課	市観光協会	市商工会	地区ガイド組合	旅館組合
------	-------	------	---------	------

Q2 アドバイザー派遣の申請について

これまでに本事業（エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業）に応募したことがありますか。

ある ない

└─▶ 「ある」にチェックした場合は、応募年度をご記入ください。[応募年度： 25 年度]

環境省が取り組んでいる平成 26 年度の他のエコツーリズム事業に採択されていますか。

採択されている 採択されていない

└─▶ 「採択されている」にチェックした場合は、次のうち該当する事業にチェックをしてください。

生物多様性保全推進交付金（エコツーリズム地域活性化支援事業）

復興エコツーリズム推進モデル事業

「生物多様性保全推進交付金（エコツーリズム地域活性化支援事業）」及び「復興エコツーリズム推進モデル事業」にすでに採択されている場合、本事業に重複して応募することはできません。

アドバイザー派遣申請の背景となっている地域課題及び申請目的をご記入ください。

背景

地区ではこれまで旅行代理店等による大型観光バスを使った団体旅行中心のマスツーリズムが主流であったが、近年の観光客の観光地に対する要望の変化に合わせて、地元住民が主体となるガイド団体等が結成され、エコツーリズムを取り入れた観光を目指す動きが活発に見られるようになってきた。

地域課題

エコツーリズムに取り組む地域団体が活動を始める一方、団体ごとの運営力やガイドの知識・経験レベルに差があり、また観光客の受け入れに対する地域住民の間で意識の違いもある。

申請目的

上記のような課題を解決するため、今回のエコツーリズム推進アドバイザー派遣を利用させていただき、エコツーリズム推進にあたっての取組体制、地域住民・観光事業者・行政の役割を明確にしたい。

アドバイスを希望する内容にあてはまるものに 印を付けてください。

エコツーリズムに関する意識・啓発、資源の発掘	エコツーリズム（観光を含む）に対する意識・啓発	
	自分たちが暮らす地域に対する意識・啓発、地域住民の参加	
	地域資源の発見・発掘	
ガイド人材の育成、ガイド制度づくり	ガイドの役割に対する認識	
	ガイドの方法	
	ガイドの人材育成と品質維持	
	ガイド認定制度	
	ガイドの後継者問題	
	ガイド同業者団体の設立	
利用と保全の仕組みづくり	自然観光資源の保全に関する技術的アドバイス	
	利用と保全のルール・仕組みづくり	
	オーバーユースに対するルール・保全手法の改善策	
	保全にかかる費用の捻出策	
	適正な取組地域の範囲（適正規模のゾーニング）	
	モニタリング	
環境教育の実施	環境教育の実施	
地域が協働する推進体制づくり	核となる人材の育成・組織の設立	
	多様な主体間の連携、利害関係の調整、合意形成	
	行政と民間との役割分担	
	他地域との連携	
エコツアーの商品化と事業化	エコツアーの作り方	
	エコツアーの情報発信	
	エコツアーを業として成り立たせるための仕組みづくり	
	エコツアーの国際化・外国人の受入体制づくり	
フィールド環境の整備・計画	フィールド環境の整備・計画	
環境省施策・事業の活用	エコツーリズム推進法に基づいた全体構想の策定	

（その他、希望する内容があればご記入ください）

エコツーリズムに取り組みにあたって、対象とすべき地域資源の把握、地域資源の保全と活用の両立が成り立つ方法の提案、エコツーリズムの推進体制のあり方について、先進的な事例も参考にしてアドバイスをいただきたい。

アドバイザーの人選についての希望があればお書きください（詳細は募集要領をご覧ください）。

（例）「 について指導可能な方」、「 について専門的見地から助言していただける方」、
「 氏にお願いしたい」等

氏にお願いしたい。
または、 の分野について専門性の高い方にお願いしたい。

派遣を希望する時期、日数（基本2泊3日）、回数についての希望があればお書きください。

（例）「 月下旬（平日）に2泊3日」、「 月と 月に各1回程度」等
月下旬（平日）に2泊3日を希望。

アドバイザーの助言・指導を、貴地域における取組に反映させる方法についてご記入ください。

エコツーリズム推進協議会のメンバーが直接アドバイザーから助言・指導を受けることにより、今後の検討に当たってその考え方を反映させる。
また、受けた助言・指導の内容をレポート等の記録として残し、その場に参加できなかったメンバー間でも共有する。

本事業の募集を知った情報源をご記入ください。（ 具体的にご記入ください。）

環境省「エコツーリズムのススメ」のホームページを見て

メールでの案内を見て（メール配信組織名： ）

事業の紹介を受けて（紹介組織： ）

以前、応募したことがあったため

その他（ ）

Q3 貴地域におけるエコツーリズムの取組状況について

貴地域における現在の活動状況について、下記の中から1つだけ選んで 印を付けてください。

1 エコツーリズムへの取組を検討している時期（胎動期）	
2 エコツーリズムへの取組をはじめて間もない時期（始動期）	
3 エコツーリズムに取り組んできて改善が求められている時期（改善期）	

エコツーリズムの取り組みを開始した具体的な時期についてお聞かせ下さい。

2012 年頃

貴地域において、エコツーリズムや地域観光資源の保全に取り組む目的、もしくはこれから取り組もうとする目的について、あてはまるものすべてに 印を付けてください。

1 従来の観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため	
2 「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため	
3 地域の活性化に貢献するため	
4 地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため	
5 地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため	
6 地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため	
7 現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため	
8 その他（下欄にご記入ください）	
環境教育を通じて地域のこどもたちの郷土意識を醸成するため	

地域において、エコツーリズムや保全の対象となる「自然観光資源」について、あてはまるものすべてに 印を付けてください。また、主な自然観光資源を下欄に具体的にご記入ください。

1 動植物（クジラ、イルカ、ウミガメ、ホタル、チョウ、ブナなどの巨木など）	
2 動植物の生息地・生育地（海鳥の集団繁殖地やサンゴ礁、湿原など）	
3 地形・地質（滝や風穴、噴泉塔など）	
4 自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源（例：棚田、魚垣、半自然草原と火入れ、カバタなど）	
5 これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない	
（主な自然観光資源） 地区のブナの森、ゲンジボタルとその生息地、 の滝、 地区の棚田 など	

貴地域において、「現在取り組んでいるエコツアーの種類」及び「取り組みを検討しているエコツアーの種類」について、該当するものすべてに 印を付けてください。

	現在取り組んでいる	取組を検討している	取り組む予定なし
1 原生的な自然におけるエコツアー (トレッキングツアー、キャンプツアーなど)			
2 地域に特有な野生生物とのふれあい (ホエールウォッチング、野鳥観察会など)			
3 自然の営みにふれる観察会への参加 (星空観察会、自然散策会など)			
4 地球科学的な視点(地形・地質など)から自然や暮らしとの関わりを学ぶ活動(ジオツーリズムなど)			
5 環境教育を主目的とした活動 (修学旅行の体験プログラムなど)			
6 農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動 (植林・下草刈り体験など)			
7 自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動 (里山ウォーキングなど)			
8 地域の生活や文化を体験する活動 (里山の管理・再生についての学習など)			
9 環境保全のための貢献活動 (植生回復ボランティアなど)			
10 自然の中でゆったりとした時を過ごしながら自然の恵みを体感する活動(体験滞在型観光など)			

上記 1～10 以外で、現在取り組んでいるもの、又は検討しているものがあればご記入ください。

現在取り組んでいる	農業体験(棚田での田植え、収穫など)を通じて自然の豊かさ、多様性を学ぶ活動
取組を検討している	ジオツーリズム

Q4 貴地域におけるエコツーリズムの推進組織について

貴地域におけるエコツーリズム推進組織（エコツーリズム推進協議会等）の有無について、該当するものに印を付けてください。

1 存在する	
2 存在しない	

で「1 存在する」と回答した場合、次の「-1~3」にもお答えください。

-1 エコツーリズム推進組織の名称をご記入ください。

<p>地区エコツーリズム推進協議会</p>

-2 エコツーリズム推進組織の取組状況について該当するものに印を付けてください。

1 行政が主導的な役割を果たして活動が進められている	
2 地元住民が主導的な役割を果たして活動が進められている	
3 観光等の事業者が主導的な役割を果たして活動が進められている	

-3 エコツーリズム推進組織の具体的な活動内容をご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズム推進のための共通理念づくり ・ガイドの技術向上のための研修会の実施
--

エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定について取組を行っていますか。または取り組む予定がありますか。

1 全体構想策定に向けて取り組んでいる	
2 全体構想策定済み	
3 全体構想策定に向けた取組を行う予定、想定がある	
4 現時点で取組を行う予定はない	
5 全体構想認定について知らない	

貴地域におけるガイド組織、エコツアー関連事業者がある場合、具体的な名称をご記入ください。また、今後、地域でエコツーリズムを推進していくにあたって、参加や連携が想定される参加者や団体などについてもご記入ください。

	ガイド組織	エコツアー関連事業者	今後想定される参加者・団体
地域内	・ 地区ガイド協会	・ (株) ネイチャーガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人 自然保護クラブ ・ ○ 地区自治会
地域外		・ (有) ガイディングシステム	

以上